



自国防衛産業の再編

令和6年1月28日

黒田インターナショナルコンサルティング

黒田 毅

全ての防衛軍事兵器の内需における生産への転換は、軍事産業の再編と軍事産業の輸出の容認を求める。

これらは世界の資産端の軍事技術を内需において求め、IT システムや技術の開発環境とともに、新たな自衛隊の再編を行う。

これらは新しい自国政策と防衛外交政策において、現実への判断を新たに求めるものである。

これらは次世代と宇宙という新しい現実に対して自国防衛産業の再編と育成を提案するものである。

これらは新たなコスト基準における防衛産業の育成と再編を求め、経済における安全保障政策の作成とともに、新たな自国の安全保障を構築する。

これらは外交の基軸を新たにし、独自外交への転換とともに、世界における新たな自己プレゼンスの構築を実現するものである。

これら先端技術への転換は、自国産業の育成と転換を防衛産業の育成とともに求め、新たな防衛施策は、サイバー環境や宇宙空間における新しい技術要求へ、自国産業の育成において、これら新しい未来へ独自防衛体制と安全保障の構築を実現できると考える。

これらは、新しい技術要求へ、自国産業がこれら全てを、自己において製造することを明確に要求し、防衛産業の育成と再編を行うものである。

これらは独立性の回復は、独自外交における新しい自己構築を実現できるものであり、既存経済と産業基盤は、その飛躍における未来を有することができるのである。

これらは未来という選択が独立において可能であることを示すものである。決意と決断はそれを可能とするのである。